

問1 弥生時代に使用された土器の一般的な特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2026年 北海道公立入試 類似）

1. 表面に縄目の文様が全体に施されており、厚手で黒褐色をしている。
2. 赤褐色で文様やかざりが少なく、薄くて硬い性質を持っている。
3. 呪術的な目的から、表面に激しい隆起や複雑な装飾が施されている。
4. ろくろを使用せずに低温で焼かれたため、形が歪んでおり非常に厚くて脆い。

問2 古代の日中関係をまとめた学習レポートにおいて、5世紀のヤマト王権による外交について記述する場合、その内容として正しいものはどれですか。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 「倭の五王」と呼ばれる王たちが、中国の南朝に使節を派遣し、朝鮮半島での軍事的な指揮権や自らの地位を認めさせようとした。
2. 邪馬台国の卑弥呼が中国の魏に使節を派遣し、「親魏倭王」の称号とともに金印を授かり、国内の小国連合の統制を強めた。
3. 奴国の王が中国の後漢へ使節を派遣し、光武帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かって、北九州での地位を確立した。
4. 小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣され、対等な立場での外交を求める国書を提出して、新しい官制や憲法を導入しようとした。

問3 弥生時代に本格的に始まった稲作において、収穫の際に用いられた石包丁の使用方法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 稲の穂の部分を摘み取るために用いられた
2. 稲を根元から刈り取るために用いられた
3. 収穫した後の脱穀を行うために用いられた
4. 土を掘り返して苗を植えるために用いられた

問4 弥生時代の社会における銅鐸の特徴や役割について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2023年 三重公立入試 類似）

1. 次第に大型化し、表面には当時の生活や自然を反映した装飾が施されるようになった
2. 鉄器よりも硬度が高いという性質を活かし、木を伐採するための工具として普及した
3. 大陸との交易を円滑に進めるために、重さに応じた価値を持つ貨幣として使われた
4. 各個人の家の中に置かれ、日常的に家族の健康を祈るための仏具として使われた

問5 古代日本の生活文化について述べた次の文のうち、衣料に関する記述として正しいものを選びなさい。（2026年 栃木公立入試 類似）

1. 古墳時代の有力者は、麻のほかにも絹を用いた衣服を身につけることもあった。
2. 弥生時代には稲作とともに綿の栽培も伝わり、民衆の服の多くは綿製であった。
3. 古代の日本列島では乾燥した気候を活かした羊の飼育が盛んで、羊毛が主な原料だった。
4. 当時の技術では植物繊維を利用することができず、衣服のすべてが動物の皮で作られていた。

問6 弥生時代の日本における生活や道具について述べた次の文のうち、歴史的事実として正しいものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 稲作が本格的に広まり、収穫のために石包丁が利用された
2. ナウマンゾウなどの大型動物を捕らえて主な食料としていた
3. 表面に縄目の文様がついた土器が、煮炊きや貯蔵に広く使われた
4. 大陸から渡来人によって仏教が伝えられ、寺院が建立され始めた

問7 弥生時代に大陸から稲作が伝わり、食料を蓄えることが可能になったことで生じた社会の変化について、最も適切な説明を選んでください。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 土地や水の利用、蓄えた食料などをめぐって、ムラの間で争いが起こるようになった。
2. ナウマン象などの大型動物を狩猟するために、人々は移動を繰り返しながら生活するようになった。
3. 政府から農民へ平等に土地が割り当てられ、収穫した稲を税として納める制度が整った。
4. 表面に縄目の文様がある、厚手で黒褐色の土器が全国的に作られるようになった。

問8 弥生時代に大陸から稲作が伝わると、収穫のための道具として磨製石器の一種が広く使われるようになりました。中央に2つの小さな穴が開いた半月形の形状をしており、稲の穂先のみを摘み取るために使用されたこの道具の名称を選びなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）

1. 石包丁
2. 鉄鎌
3. 磨製石斧
4. 尖頭器

問9 3世紀の倭（日本）において、邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏へ使節を送った目的や、その当時の様子を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）

1. 卑弥呼はまじないを用いて人々を従えて国を治め、魏の皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、銅鏡などを授かった。
2. 卑弥呼は鉄製の武器や農具を大量に輸入するために、朝鮮半島の楽浪郡を通じて後漢の皇帝へ朝貢を行った。
3. 卑弥呼は九州北部の奴国を統一し、大陸の優れた仏教文化を取り入れるために隋へ小野妹子を派遣した。
4. 卑弥呼は中国の皇帝に対して、倭国内での地位を認めさせるのではなく、対等な立場での外交関係を求めて使節を送った。